



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）1月15日号 No. 1484

## 目次

■2010年の日露経済協力を展望する .....	遠藤 寿一 1
■統計速報 .....	12
2009年1～11月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／12	
■トピックス .....	13
川重子会社と双日、トルクメンから肥料設備受注／13	
日立製作所、カザフからガスタービンを受注／13	
林野庁がロシア産丸太輸出税引上延期を確認／13	
キルギス兼勤駐在官事務所が大使館に格上げ／13	
千歳・ハバロフスク直行便／13	
2009年ロシア10大ニュース／13	
■エトセラ .....	14
ワークショップ「ロシアのエネルギー政策とその気候変動政策への影響」／14	

## 2010年の日露経済協力を展望する

ロシアNIS経済研究所 所長

遠藤 寿一

### はじめに

昨年（2009年）の新春は、前年秋のリーマン・ショックを受けて、世界経済が海因なき航海に船出するような不安の中でスタートした。ただ、ロシアは諸外国と比較しても金融レバレッジが低いことで、欧米で騒いでいるような金融危機とは無縁であると平静を保っていた。むしろ今後の世界経済は、BRICsが主導権を握ることになり、ロシア経済は安泰であると豪語してきた。

だが、時間の経過とともに、ロシア経済は苦戦を強いられることになった。結果的に、BRICsの中ではロシアの一人負けに終わることで、2009年を終了した。

それでも、年末もぎりぎりの12月28日、沿海地方コズミノ港から、太平洋原油パイプラインで運ばれてきた（一部鉄道）原油の積み出しが開始され、プーチン首相が式典に参列した。東アジア太平洋地域へロシアが積極的関与を宣言した瞬間でもあった。

2010年の日露経済協力は、対岸への地域協力が再び脚光を浴びることになるだろう。